

7月19日（木）の午後、生徒を対象にした心肺蘇生・AED 講習会を実施し、各部活動から計52名の生徒が参加しました。本校体育科の教員が講師となって、倒れた人を発見した際の対処法や心臓マッサージ、およびAEDの使い方についてグループ毎に講習を受けました。参加した生徒達は、緊張感を持ちながら、真剣な眼差しで取り組んでいました。講習後の生徒達の感想をいくつか紹介します。

「初めてAED講習会に参加し、とても勉強になりました。実際に人が倒れた時、今回学んだ心肺蘇生をやると思うと、とても大変だなと感じました。でも、今回習ったことを活かして、積極的に人命救助をしたいと思います。知らなかったことを知ることができて、とてもためになりました。」（3年女子）



「胸骨圧迫が難しかったです。救急処置の流れを、紙を見ながら行ったので、覚えられるようにしたいです。最初はAEDの開け方もわからなかったけど、実際に使ってみて少し使えるようになりました。実際に倒れている人を発見したら、助けられるようになりたいです。」（1年女子）

「今回、このような講習会を受講して、心肺蘇生のやり方を確認できてよかったです。声を大きく出して、周りの人に声をかけることが大切なのだと思いました。命に関わる場面に遭遇したときは、自分から助けに行くという積極的な心構えを持ち、行動に移していきたいと思います。」（1年男子）

